

事業番号	02 02 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	県単統計調査事業費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課統計室	
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokei@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ①各自治体、民間企業の各種施策・事業に活用してもらうために、県内の情勢等を反映した数値・指数等を作成する必要がある。
- ②統計の利活用が生活の向上や社会・経済の発展のために重要な役割を果たしていることを県民に理解され、関心を高めてもらう必要がある。
- ③政策の企画立案を統計データなどの客観的・合理的な根拠に基づくものとする（EBPMの推進）ため、支援体制の強化が必要となる。

2 事業目的

- ①県内の経済情勢や景気動向等を適時的確に把握するため、正確な統計を作成し、統計調査結果を記録・保存する。
- ②データを広く一般に提供することで、統計の利活用の向上を図るとともに、県民の統計に関する理解と関心を深め、今後の統計調査の円滑な実施につなげる。
- ③専門知識をもって政策立案を行う支援体制の強化、行政職員が統計を正しく理解し適切に利用する意識及び技術・能力の向上により、EBPMを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①県内の経済情勢や景気動向等の見える化
 - 県内の経済情勢、景気動向、人口異動等を示す数値の作成
 - ・県の経済成長率や産業構造を把握するため、**県民経済計算**を作成
 - ・県内製造業の「生産、出荷、在庫」の状況を把握するため、**鉱工業指数**を作成
 - ・国外・国内・県内の人口異動状況を把握するため**毎月人口異動調査**を実施
- ②県内統計の記録・公表およびデータ利活用の促進
 - ・ホームページ「統計ステーションながの」及び刊行物「長野県統計書」、「ながの県勢要覧」により公表
- ③EBPMの推進
 - 政策の企画を統計データなどの客観的・合理的な根拠（エビデンス）に基づくものとする。
【拡】**相談体制の整備、データに基づく政策立案を実践するモデルの構築**
 - 職員のデータ活用力と発信力（見える化）の強化
 - ・各部局において自ら政策形成につながるデータ分析を実践できるように研修を実施する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	県民経済計算、鉱工業指数、毎月人口異動調査のデータ蓄積	件	857	915	↗	965	↗	1,015	△	県内の経済情勢や景気動向等に見える化のため、令和5年度は1,015件とする。	
②	統計ステーションながののデータ蓄積	件	6,376	6,887	↗	7,200	↗	7,400	△	活用できるデータを蓄積するため、令和5年度の目標を7,400件とする。	
③	研修受講者数	人	—	80	—	100	↗	120	△	職員にデータ分析の知識・スキルを普及させるため、受講者数を実施開始年度から令和7年度までに100%増の160名とすることを長期目標とし、令和5年度は120名を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		17,297		17,297	5,350	5.0
	(要求)		17,297		17,297	5,350	
R4年度	0	10,860	0	10,860	6,432	5.0	
R3年度	0	6,951	0	6,951	6,951	6,307	5.0
予算要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業名	県単統計調査事業費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課統計室
-----	------------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	県単統計調査事業費	6,951 千円	6,326 千円	(予算案) 5,179 (要求) 5,179 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県民経済計算及び鉱工業指数の作成・公表	直接	県内の経済情勢、県内総生産等の規模や構造などを適時的確に明らかにするため、県民経済計算や鉱工業指数などを作成 県民経済計算は年1回、鉱工業指数は月1回公表	
2	長野県人口統計システムの改修	直接	より実態に即した人口異動状況を把握するため、長野県人口統計システムの改修業務を外部委託し、円滑に集計する。 「人口異動調査」として月別、半期別、年別に公表	
3	統計情報公開用ポータルサイト「統計ステーションながの」の運用	委託	長野県が公表する統計情報を一元的に公開するためのwebサイト「統計ステーションながの」の運用支援業務を外部委託 委託料 459千円、原則として24時間、搭載データの編集が行えるものとする。	
4	統計刊行物（「長野県統計書」・「ながの県勢要覧」）の作成	直接	県内の統計調査結果を記録・保存し広く一般に提供するため、「長野県統計書」及び「ながの県勢要覧」を作成 「長野県統計書」及び「ながの県勢要覧」を年1回公表	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	EBPM推進事業	0 千円	4,534 千円	(予算案) 12,118 (要求) 12,118 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	アドバイザー相談	直接	・データ分析に関する各種相談への対応 ・データ分析アドバイザーによる分析相談の支援 アドバイザー相談を随時、分析相談の支援を月1回程度実施	
2	統計データ利活用研修	直接	・庁内職員向け統計データに関するスキル向上研修 ・データ利用推進センター職員向けデータ分析研修 スキル向上研修を基礎・応用・実践に分け実施、データ分析研修を年5回程度実施。	
3	EBPMモデル構築事業	委託	・市町村及び研究機関等と連携したEBPMに基づく課題解決等の分析モデルの構築 有識者を含めたワーキンググループを7回、研究会を2回実施する。	